

# は一もにい

特集 男女共同参画～施行から10年がたちました～  
・婚活って何？  
・カジダン・イクメンにインタビュー  
・ワーク・ライフ・バランスについて

男女共同参画情報誌 No.30 平成 22 (2010) 年 2 月  
企画・編集／「は一もにい」編集委員会  
発行／東大和市子ども生活部 市民生活課  
TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5931

◆「は一もにい」に対するご意見・ご感想をお寄せください。

## ☆男女共同参画社会の実現に向けて☆

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、男性と女性が社会で対等に活躍する社会のことを言います。しかし、これは男性と女性の体の特徴を無視して何もかも平等にする、という意味ではありません。「男性は仕事、女性は家庭」というような役割分担に縛られることなく、個々の特性を生かして協力し、社会で活躍するという社会が「男女共同参画社会」なのです。

# 男女共同参画社会基本法が施行されてから10年がたちました！



男女共同参画

昨年の6月に10周年をむかえて、シンボルマークができました。  
「男女が手を取り合っている様子をモチーフにし、互いに尊重しあい、ともに歩んでいけたら」という願いがこめられています。

この10年で政治及び経済活動へ参画する女性の数が緩やかに増えてきましたが、国際的にみるとまだその水準は低く、国連開発計画の2009年※ジェンダー・エンパワーメント指数の順位は109か国中57位でした。

まだ「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という思い込みや、「夫は長時間労働のため、家事・育児をする時間がない」という現実があり、女性が希望どおり家事と仕事を両立させることが難しい状況です。

経済活動の低迷、雇用状況の悪化、少子高齢化問題など、日本の抱える様々な問題に立ち向かうために、私達の意識を変え、「男女共同参画社会」を実現することが必要です。

※ ジェンダー・エンパワーメント指数 女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを表す指数。国会議員の男女比率、男女の管理職に占める比率と専門職・技術職に占める比率、男女の推定勤労所得を用いて算出する。



## 男女共同参画の将来像



### 職場では

- ・男女の平等な雇用機会の確保
- ・多様な就業形態の選択



\* 男性だけでなく女性の意見も取り入れられるようになり、組織が活性化する

\* すべての人が自分にあった職場を選択できるようになり、個人が能力を最大限に発揮できる

### 家庭では

- ・仕事と家庭が両立できる環境を整備
- ・社会全体で子育て・介護をする取り組みの充実



\* 家族がお互いに尊重しあい協力し合うことにより家族のパートナーシップが強まる

\* 男性がもっと家庭に参画することにより、家庭の子育て・教育力が高まる

### 地域では

- ・男女がともに主体的に地域活動やボランティア等に参加



\* 地域の活性化、暮らし改善、子供たちが伸びやかに育つ環境が実現



# 婚活って何？

最近、「婚活」という言葉をよく耳にします。

婚活とは、「よりよい結婚を目指して合コンや見合い、自分磨きなどの積極的な結婚活動をする」との略で、この言葉の発案者である山田昌弘氏と白河桃子氏によって書かれた『婚活』時代』によって有名になりました。

2005年の国勢調査によると、30代前半男性の未婚率は47.1%、30代前半女性の未婚率は32.0%です。

しかし同じ調査で、18歳〜34歳の独身男女の約9割が「いつかは結婚したい」と答えています。

30年ほど前までは、結婚適齢期になると会社の上司や親戚などからお見合いを勧められることが多かったようです。

ところが1982年には見合い婚が29.4%だったのに対して、2005年には6.4%に減っており、今では約9割が恋愛結婚となっています。

結婚する男女の出会いのきっかけで最近最も多いのは「友人、兄弟を通じて」で31.0%、ついで「職場や仕事」で29.9%です。

しかし産業別の就業者数を見てみると、建設業では男性が86%、女性が14%、運輸業では男性が82%、女性が18%となっているのに対し、医療、福祉では男性が24%、女性が76%であるなど、職場により男女比に差があるため、何もしなければ出会いが少ないのが現状です。

「結婚したい！」という気持ちがあれば、料理教室に通う、資格を取る、エステに通うなどの「自分磨き」や「経済力をつけるための転職」などの他に、結婚相談所に行く、友人に紹介を頼む、など、もう一歩具体的に前に踏み出すことが必要なようです。



## カジダン・イクメン

家事をする男性(カジダン)  
育児をする男性(イクメン)  
♪ご家庭にお話を伺いました♪



市内在住 菱川家ご夫妻

Q、ご家庭で旦那様は家事や育児にどのような関わられていますか？

妻…娘(生後四か月)が、眠たくてぐずっている時にあやしなから寝かせてくれます。トイレやお風呂の掃除は、ほぼ主人がしてくれませぬ。ゴミ出しや買い物もお互いに協力しながら行っていますよ。先日は手巻き寿司を作ってくれましたが、結構おいしかったです。

### 「ワーク・ライフ・バランス」について、考えてみませんか？

ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事と生活の調和」と訳され、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても子育て期・中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」を指します。

仕事で疲れてしまったり休日は寝て終わってしまうのではなく、休日にも充実させられるように、あなたも働き方を見直してみませんか？



Q、旦那様はどのような気持ちで関わっておられるのですか？

夫…日中、子どもの面倒をみているから(初めての育児ということもあって)負担が大きいのではないかと思っていますし、できる限りなんでも協力していきたいですね。自分ができないところは、互いに協力しあってやっています。

Q、法律で育児休業制度がありますが、実際にとってみようと考えられませんでしたか？

夫…知っていれば、取得したかったですね。ですが、自分が仕事を休むことでお世話になっている会社に負担をかけてしまうと申し訳ないと思うので、(今後取得するのは)なかなか難しいですね。

Q、仕事と家庭の両立で大切なことはありますか？

夫…特別なことでもないですね。仕事も家庭(育児)も別々のものではなく、一つの生活として考えているので…自分の性格なんですよ。あえていえば、妻と何でも話し合ってお互いに理解を深めていくことが一番だと思います。

## は一もにい編集委員募集！！

対象者：市内在住の20歳以上の方(男女問わず)  
活動期間：平成22年8月～平成23年2月の月1回程度(平日昼間)  
♪活動は無償でお願いしています。楽しい活動にしましょう。♪

### \*編集後記\*

結婚するきっかけがなのまま長く付き合っている破局してしまうカップルも増えているそうです。恋人同士もいいますが、家族になるってもっと楽しくて、人生が広がるのになあ。

(原 こず恵)

男女共同参画の実現にあたっては企業の仕事と生活の調和への取組が必要不可欠であると思います。我が家でもワーク・ライフ・バランスについて話題にしてみたい。

(黒澤 美香)